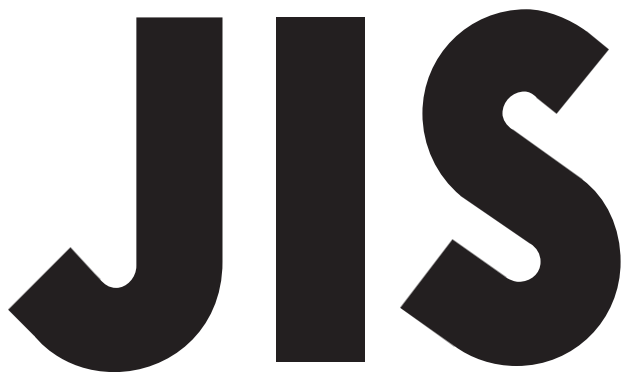




鋼の浸炭硬化層深さ測定方法

JIS G 0557 : 2025

(JISF)

令和 7 年 4 月 21 日 改正

認定産業標準作成機関 作成・審議

(日本規格協会 発行)

一般社団法人日本鉄鋼連盟標準化センター 鋼材規格三者委員会（産業標準作成委員会） 構成表

	氏名	所属
(委員長)	榎 学	東京大学
(副委員長)	緒 形 俊 夫	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	田 中 龍 彦	東京理科大学名誉教授
	藤 原 弘 次	EMF応用計測
(委員)	林 央	元国立研究開発法人理化学研究所
	千 葉 光 一	関西学院大学
	沖 佑 典	国立研究開発法人建築研究所
	桑 原 利 彦	東京農工大学大学院
	富 山 禎 仁	国立研究開発法人土木研究所
	鈴 木 覚	一般社団法人日本アルミニウム協会
	堤 紳 介	一般財団法人日本規格協会
	熊 井 勝 敏	日本検査キューエイ株式会社
	藤 井 勉	一般社団法人日本試験機工業会
	栗 原 正 明	一般社団法人日本伸銅協会
	藤 田 栄	北海道大学
	塩 田 佳 紀	一般社団法人火力原子力発電技術協会（株式会社IHI）
	山 口 栄 輝	公益社団法人土木学会（九州工業大学）
	種物谷 宣 高	高圧ガス保安協会
	金 岡 秀 明	一般社団法人日本機械工具工業会（住友電工ハードメタル株式会社）
	山 田 哲	一般社団法人日本建築学会（東京大学大学院）
	蓮 井 敏 秀	線材製品協会（日鉄SGワイヤ株式会社）
	松 本 和 幸	一般財団法人日本海事協会
	辻 村 寿 彦	日本金属継手協会
	鈴 木 一 弁	一般社団法人日本鋼構造協会
	近 藤 隆 明	一般社団法人日本自動車工業会（日産自動車株式会社）
	相 川 卓 洋	公益社団法人日本水道協会
	酒 井 英 典	株式会社神戸製鋼所
	中 澤 晋	JFEスチール株式会社
	八 木 謙 治	大同特殊鋼株式会社
	荒 井 和 弘	日本製鉄株式会社

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 40.7.1 改正：令和 7.4.21

担 当 部 署：経済産業省イノベーション・環境局 国際標準課

(〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1)

官 報 掲 載 日：令和 7.4.21

認定産業標準作成機関：一般社団法人日本鉄鋼連盟

(〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10 鉄鋼会館 TEL 03-3669-4826)

審 議 委 員 会：一般社団法人日本鉄鋼連盟標準化センター 鋼材規格三者委員会（産業標準作成委員会）

(委員長 榎 学)

この規格についての意見又は質問は、上記認定産業標準作成機関にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに見直しが行われ速やかに確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 測定原理	2
5 試験装置	2
6 試験片	2
6.1 試験片の選択及び調製	2
6.2 被検面の前処理	3
7 測定方法	4
7.1 硬さ試験による測定方法	4
7.2 マクロ組織試験による測定方法	5
7.3 顕微鏡試験による測定方法	5
8 結果の評価	6
8.1 硬さ試験	6
8.2 マクロ組織試験	6
8.3 顕微鏡試験	6
9 表示	7
10 試験報告書	7
附属書 A (規定) 有効硬化層深さ決定のための内挿法	9
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	11
解 説	16

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 14 条第 1 項の規定に基づき、認定産業標準作成機関である一般社団法人日本鉄鋼連盟（JISF）から、産業標準の案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS G 0557:2019** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

鋼の浸炭硬化層深さ測定方法

Methods of measuring case depth hardened by carburizing treatment for steel

序文

この規格は、2016年に第1版として発行されたISO 18203を基とし、浸炭硬化層深さ測定方法に関わる内容だけを抜き出して規定するため、技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。技術的差異の一覧表にその説明を付けて、附属書JAに示す。

1 適用範囲

この規格は、鋼の浸炭焼入れ又は浸炭浸室焼入れによる有効硬化層深さ及び全硬化層深さ（以下、浸炭硬化層深さという。）を測定する方法について規定する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 18203:2016, Steel—Determination of the thickness of surface-hardened layers (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 0601 製品の幾何特性仕様（GPS）—表面性状：輪郭曲線方式—用語、定義及び表面性状パラメータ

JIS B 7725 ビッカース硬さ試験—試験機の検証及び校正

JIS B 7734 ヌープ硬さ試験—試験機の検証及び校正

JIS G 0201 鉄鋼用語（熱処理）

JIS G 0202 鉄鋼用語（試験）

JIS Z 2244-1 ビッカース硬さ試験—第1部：試験方法

JIS Z 2251-1 ヌープ硬さ試験—第1部：試験方法

JIS Z 8401 数値の丸め方